

令和4年度 第5回朝日スーパーライン写真コンテスト 入賞作品一覧

【会長賞】

菅沼 利幸（村上市） 「朝につつまれる秋」（撮影：村上市内）



【審査員講評】

朝焼けと朝もやが相まって、暖色に染まり静かな刻の流れを感じます。手前の柿の木の位置と背景の山もバランス良く、見飽きしない作品です。

【副会長賞】

三浦 一喜（鶴岡市） 「春間近」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

やっと冬が終わり、湖が開け始めるベストタイミングの撮影です。背景に摩耶山を置き雄大な風景写真として出来上がったと思います。

【優秀賞】

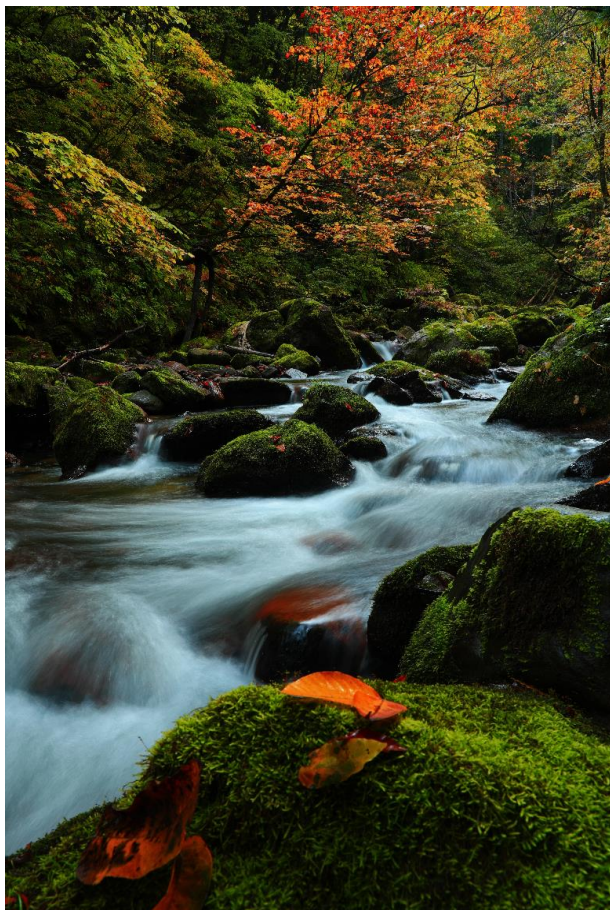
遠山 勝行（村上市） 「錦秋の三面溪谷」（撮影：村上市内）



【審査員講評】

カヌーの位置どり、また遠く小さく見せる事で、溪谷の奥深さが出ています。

齋藤 勝美（山形市） 「秋の流れ」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

水流の勢いと苔の岩の緑に枯葉の赤がアクセントになり、自然の姿が良いです。

【優秀賞】(続き)

相田 誠 (鶴岡市) 「朝霧の松ヶ崎」 (撮影：鶴岡市内)



【審査員講評】

風が水面が水車が、時間が止まったような世界を切り取り、集落の行く末が気になります。

石崎 幸宏 (庄内町) 「溪流の雪帽子達」 (撮影：鶴岡市内)



【審査員講評】

新雪に冬の柔らかい日が当たり、大小の雪帽子達の可愛い作品です。

【入選】

貝沼 カツヨ（村上市） 「釣りを楽しむ」（撮影：村上市内）



【審査員講評】

つり券ありますの幟と釣り人が写っているのが良かったのです。

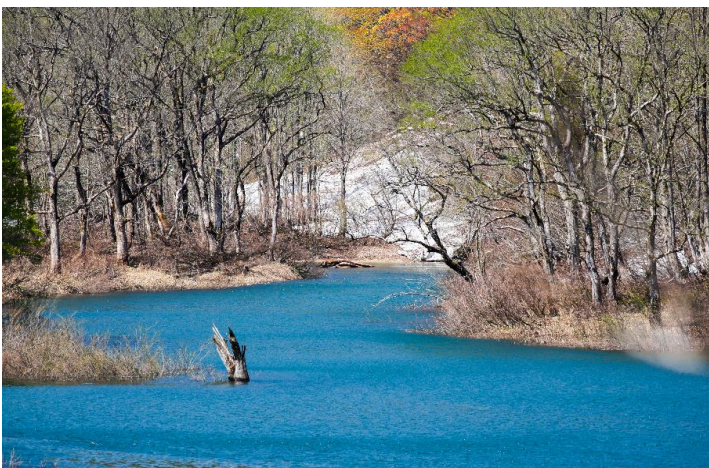
木村 東仁（岩手県一関市） 「鮭戻る三面川」（撮影：村上市内）



【審査員講評】

ほら、鮭獲ったぞーの声、おしゃれな電車の音。静かに竿を置く釣り人。物語があり

小檜山 裕行（宮城県角田市） 「早春のダム湖畔」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

ダム湖のブルーが際立っております。手前の枯れ木も良いアクセントになっています。

【入選】(続き)

五十嵐 貞一（鶴岡市） 「湖畔の妖精」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

背景と土手の雑然した中、
やっとカタクリの花の写真が
来たという感じです。

齋藤 弘男（鶴岡市） 「ダムに降りそそぐ」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

最近はやめた星景写真が多
い中、長時間撮影での苦労は
大変だったと思います。

上野 由貴（鶴岡市） 「雪化粧した虹の橋」（撮影：鶴岡市内）



【審査員講評】

青い川面、赤い橋そして雪
景色、大変良い場所の選定は
苦労したと思います。